秋季彼岸法要（ご案内）

　残暑厳しい毎日、朝夕は急に冷えたりと体調を整えにくいこの頃であります。

さて、境内には白い彼岸花が咲いています。つくつくぼうしがき夏の終わりを告げています。

夏には夏の服装や家のたたずまい、そして夏の身体になっています。秋には秋のたたずまい、そして秋の身体へと変化していきます。それと同じように（）の身から浄土の身になっていくことをこの頃思わされます。聞法は漢方薬のようにすぐにはわかりにくく効果がないように思われがちです。しかし、例えば相撲取りでは、十両は十両の身体と雰囲気があり、大関、横綱と上がるにつれ、それなりの体つきや風格が現れて参ります。聞法の世界も同じです。年を行くほどに現れてきます。現れない人は聞法が足りないのでしょう。最近、将来の不安の声をよく聞かせて頂きます。聞法されるといいのになあと思わされます。ご参詣をお待ちしております。

合掌

　**記**

**日　時　　九月二十九日（日）昼席　一時半より**

**夜席　七時半より**

**三十日（月）昼席　一時半より**

**講　師　　内勤**

○前日二十八日（土）午前九時より当番地区の方には境内の掃除をお願いしたいと思います。

お時間の許す方はよろしくお願い致します。

ご門信徒各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　普光山　長仁寺